

年	教科	科目	教科書名	副教材名
1	社会科	地理総合	『新地理総合』 帝国書院 『新詳高等地図』 帝国書院	なし

### 1. 授業のねらい

地理学とは、環境と人間の関係を科学する学問。月や火星など人間の存在しない環境では地理学は成立しない。人間の衣食住や商業活動、政治などあらゆるものが環境の影響を受けているため、あらゆるテーマを地理学として論じることができる。実際の社会人は自分の行っている仕事が地理学に通じることを意識せずに活動している。授業では地理学の基本が実際のビジネスにどのように応用されているのかまで学習する。単なる知識の詰め込みではなく、応用までできてこそ地理学であることを忘れないでください。

### 2. 授業の進め方

教科書を使用して授業を進めていきます。週に2回しかない授業のため、Classiの動画なども利用して、基本的な講義は自宅でも予習してもらいます。各動画は6分程度のもので、必ず自宅で視聴してください。授業では、ロイロノートで授業資料を提示しながら進めていきます。プリントの配布も適宜行います。動画内容の確認テストのほか、決められたテーマについてレポートを作成したり、プレゼンテーションを行ったり、単純に知識を詰め込み、問題を解答するだけでなく、社会に対して地理学の知識を利用して世の中を俯瞰し、未知の問題に対して協働的に意見を出し合い、問題解決方法を模索する探究学習も行います。探究学習では、他者の意見を受け入れ、自分の考えを柔軟に変化させていく調整力を養います。ノートはロイロノートやプリントを使用するため、特別に用意する必要はありません。しかし、手書きノートもまだまだ大事です。自らノートを用意して書き留めることは決して損をすることではありません。意欲のある人は自分でノート作成を行ってください。動画の内容はノートに記録をすると効果が高まります。地図帳は地理学習では、ノートと同じ意味を持つ大事な教材です。真新しい地図帳は何が大事な情報なのかわかりません。授業で学習した内容ができる限り少ない文字で、ぱっと見て復習できるように情報を書き込む必要があります。私の方から、これを書けとは言いませんので、学習の際には必ず地図帳を自分で利用してください。

### 3. 学習上の留意点

- ① iPadを必ず利用して授業を行います。充電を必ず自宅ですてきてください。
- ② 赤ボールペン。地図帳に情報を書き込むために赤のボールペンが必要です。よく目立つ色であること、小さい文字が書きやすいことが条件となります。
- ③ 学習動画は自宅ですべて視聴してください。

### 4. 評価方法

1. 定期考査・・・定期考査5回（100点×5） 計500点
2. 平常点・・・1学期20点+2学期20点+3学期10点 計50点
3. 定期考査、平常点等を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

### 5. 定期考査

授業で扱った事項および試験前に指定した範囲から出題される。

### 6. その他

特記事項なし。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	地図と地理情報システム	授業態度 ノート提出 演習課題	地図とは何か？その定義を考え、地図にはどのような情報が記載されるべきかを説明できる。
	五月	探究学習 「地図の収益化」	中間考査	地図の役割や有用性を実際のビジネスに結びつけて探究し、地図で収益を上げる方法を提案する。
	六月	結びつきを深める現代世界	授業態度 ノート提出 演習課題 期末考査	多くの国々が連携し・協力し、国際社会を築いていることを確認し、国際社会における国家の役割と、位置や分布などに着目しながら、地域間のさまざまな相互関係について発表する。
	七月	探究学習「ウクライナ問題の自分事化」		人種・民族の違いが、民族紛争や国境紛争にいたっている現在の社会を考察する。問題に直面した私たちに何ができるのかを考察し、実行する。
二 学 期	九月	地球的課題と国際協力 地球環境問題 資源・エネルギー問題	授業態度 ノート提出 演習課題	地球的な課題に対して、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるために今後どのような取り組みが必要かを発表する。
	十月	地球的課題と国際協力 人口問題 食糧問題	中間考査	地球的な課題に対して、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるために今後どのような取り組みが必要かを発表する。
	十一月	都市・居住問題 探究学習「ベジミート 植物肉の可能性」	授業態度 ノート提出 演習課題	より多くの消費者にアピールする商品設計や店舗デザインアドにも配慮しビジネスプランを立てることができる。
	十二月		期末考査	
三 学 期	一月	自然環境と防災 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災	授業態度 ノート提出	人間と自然の関わりや地域の特徴に着目して、災害に強い地域作りについて考察する。自然災害に備えた対策を講じることができる。
	二月	探究学習「ゼロからはじめる避難所運営」		避難所について、何人収容できて何が必要になるのか、非難を受け入れる側の立場に立って、避難所運営の役割について考察しながら、災害に備えることができる。
	三月	流通と消費	期末考査	

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。